

災害支援ナース募集!!

被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるとともに、被災された方々が健康レベルを維持できるように適切な医療・看護を提供する役割を担う「災害支援ナース」を募集しています。

■福岡県看護協会では、災害支援ナースの登録を推進しております。

令和3年度は、**320名(124施設)**の方に登録いただきました。



■災害支援ナースとは

福岡県看護協会に登録し、看護職能団体の一員として被災地に派遣される看護職です。

被災地において、原則3泊4日の自己完結型の看護支援活動を行います。

■派遣時期

発災3日目以降、概ね1ヶ月間

■派遣場所

医療機関、社会福祉施設、避難所等

■災害支援ナースになるには

- 福岡県看護協会会員であること
- 日本看護協会看護職賠償責任保険に加入していること
- 保健師、助産師、看護師、准看護師として5年以上の実務経験があること
- 災害支援ナース育成研修【基礎編】【実務編】受講していること

上記内容を満たせば、①上司に相談 ②施設長・看護部門責任者の承認 ③災害支援ナース登録票を提出

★詳細は協会WEBサイト



■近年の派遣

- ・熊本地震(平成28年)
- ・九州北部豪雨(平成29年)
- ・7月豪雨(平成30年)



■災害支援ナースの声

朝倉市の避難所に行き、感染予防のための環境を整えたり、被災者の方の話を聴き心のケアに努めたりしました。「被災者のこころと生活を支える」には看護の基本(ナイチンゲール・ヘンダーソン)を考えることの重要性を再認識し、病院経験だけでは学べない機会となりました。
(川崎病院 吉開 香織)

日常の看護業務とは違った環境下での支援活動に戸惑うこともありましたが、一緒に行った支援ナースと協力して活動しました。3泊4日という短期間ながら、多くの気づきや学びを得ることができ、貴重な経験になりました。

(福岡県立精神医療センター 太宰府病院 笹隈 友美)

2017年の九州北部豪雨で災害派遣を経験しました。災害支援ナースとしていつもの環境とは違い、限られた資源の中の援助で戸惑いもありましたが、自身の経験や知識を役立て、被災者を支援することができました。

(福岡県済生会二日市病院 川野 健)